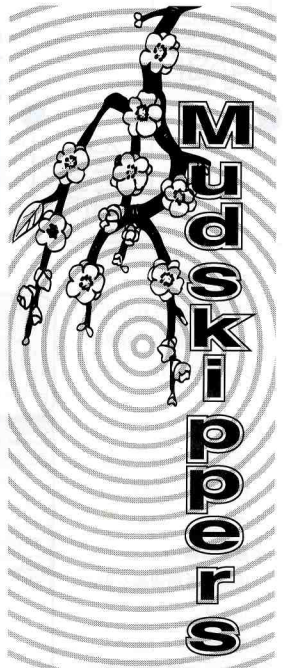


祝卒業

佐賀医大最後の卒業式 158人旅立つ



第12号

2004年6月発行

佐賀大学医学部

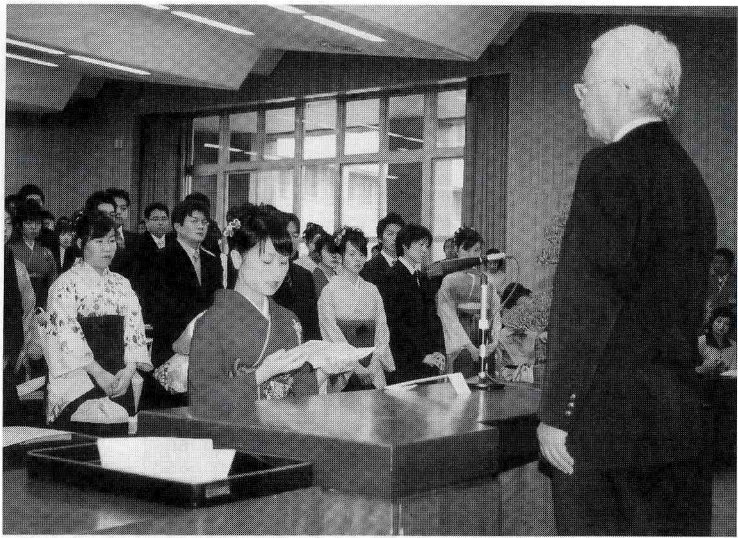
〒849-8501

佐賀市鍋島5丁目1番1号

http://www.saga-med.ac.jp/

新聞編集委員会

印刷/映昭和堂



「佐賀医科大学として最後の卒業式が平成16年3月25日に行われた。医学部第21回、看護科第8回の卒業式となり、医学科89名、看護科69名、合計158名が社会へと巣立った。昨秋に佐賀大学と統合し、「医大」としての式典は今回が最後。キャンパスから巣立つ158人の卒業生からは「母校の名前がなくなり寂しい」と消えゆく「医大」の名を惜しむ声も聞かれた。

式では、厳粛な雰囲気の中、長谷川照学長の手により一人一人に学位授与が行われた。長谷川学長は、「本日学位を授与された皆さんはそれぞれ技術や専門的な知識と技術を学んできました。しかし、これから皆さんが取り組むテーマは、エネルギー、物質、情報、環境、生命、教育、福祉健康等であり、いずれも複雑で複合的な問題であります。21世紀は学問が飛躍的に進歩する世紀です。そのために平和を追求してください。21世紀は人類そのものの存在が問われる世紀です。人類の存在が善きものであることを証明してください。21世紀は多様な生き方を許容する世紀です。地方の文化を育て、自らも知性豊かな人格の涵養に努めてください。21世紀は知の世紀でありたいと願っています。皆さんが知の世紀を築きあげるものにするのを期待しています。」とエールを送った。これに対し、卒業生代表の松枝ひろみさんが、「今日の医学の進歩は、日進月歩であり、その中で医の倫理、人間の尊厳とは何かということが改めて問い直されています。講義の中の言葉に、「私たち医療従事者は、人の体に直接触れることが許されるという特殊な職業です。」という言葉がありました。そのとき私は、忘れそうになるものに気づかされたような思いがしました。私たちが医療を提供していく中で、当然のこととして行う行為の一つ一つが、相手にとってどんな意味を持つものなのか、相手はどう受け止めるのか、常に相手の立場に立つて考えることを忘れてはならない

と改めて肝に銘じました。これから私たちが進む道は、長く、険しい道であると覚悟しておりますが、いかなるときも、患者主体の医療という原点を見失うことなく、情熱を持って、医師、保健師、助産師、看護師を努めてまいりたいと思えます。」と謝辞を述べた。

式が終わると、式場の外では卒業生を待ち構えていた後輩達が見られた。中には、はかまや着物姿で胸上げされている卒業生もいた。仲間たちとの別れを惜しみながらも、在校生の祝福を背に晴れやかな表情で、佐賀医科大学最後の卒業生として巣立っていった。

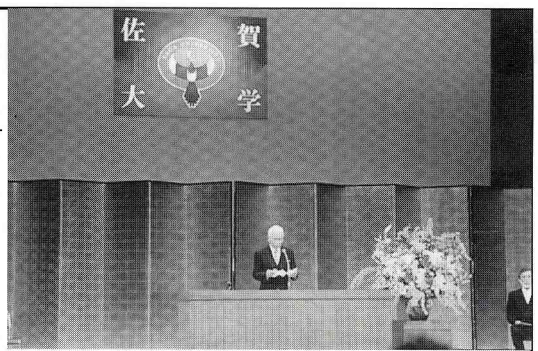
(蘭・近藤)

●平成15年度国家試験

区分	合格率	
	佐賀大医	全国平均
医師国家試験	85.7%	88.4%
看護師国家試験	100%	91.2%
保健師国家試験	97.2%	92.3%
助産師国家試験	100%	96.2%

看護学科
きんぼうだいめい
金榜題名!!
医学科
きおうふきゅう
既往不咎!?

新生佐賀大学 入学式



入学式後半では、佐賀大学在校生による合唱や楽団演奏が披露され、新入生を歓迎する和やかな式となった。式に出席した新入生は「高校とは違い、大きなホールでの入学式で緊張した。良い看護師になるため一生懸命勉強したい。」と、大学生活に対する希望をより一層強くした入学式となったようである。

入学式の日から約10日間にわたり、各学部による歓迎会が行われた。大学統合により、本学の部活への入部も可能となり、各部活とも新入生獲得のため例年以上の熱意な歓迎会となった。4月16日には、増田会館21にて、新入生歓迎会が行われ、新入生は壇上で入部する部活を発表し、各部活からの歓声で盛り上がった。また、毎年黒髪山で行われていた新入生研修が今年4月7日に本庄キャンパスで行われた。教養教育学部大講義室に集まった新入生に、本庄キャンパスでの講義内容や図書館の利用方法、学情情報処理センターの説明、佐賀大学生協についての説明がされた。その後、各チュートリアルに分かれ、チューターや二年生と共に本庄キャンパスの見学を行った。チューターも含め6〜7人で行動するため、新入生は大学生活での不安などを気軽に尋ねることができていたようだ。また、医学部にはない生協の便利な利用方法なども知り、本庄キャンパスでの授業の楽しさも増えたようだ。研修の感想では、「教授とこんなに親しく話せるとは思っていなかったのが驚いた。」「医学部はもっと堅いイメージがあったがそうではなかった。」「本庄キャンパスは広いが、医学部の方がじんまりしていてよいかと思う。」などであった。教養科目を本庄キャンパスで学ぶ初めての医学部生となるため、多くの選択科目から何を選択すればよいかアドバイスを先輩などにももらえないことが新入生にとって不安という意見もあった。統合により何年もかかっていた不安という意見もなくなった。統合により何年もかかっていた不安という意見もなくなった。

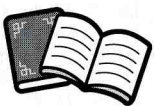
桜が満開の4月5日、佐賀市文化会館大ホールにて平成16年度佐賀大学入学式が行われた。佐賀大学と佐賀医科大学の統合に伴い、今年度より入学式は全学部合同で行われ、1,863名の希望に満ちた新入生が出席した。このうち今年度の医学部の新入生は医学科95名、看護学科60名、看護学科編入生9名の計164名であった。

今年も色鮮やかなつじと新緑でキャンパスが最も美しい時を迎えている。正門に刻まれた佐賀大学医学部という新たな名前が、長い年月をこの大学で過ごしてきた者にとつてはまだ馴染めないが、大学は間違いなく社会の変化の影響を受け、その期待に添えていく使命があることを実感させる。年々歳々花相似たり歳々年々人同じからず(中国唐代の詩人劉延芝)が特別の感慨をもつて胸に響く。

先日佐賀医科大学の閉校記念講演会で3人の卒業生の活躍を心踊る気持ちで聞いた。その折、初代学長古川哲二先生の思い出が語られた箇所があり、私も耳を傾けながら古川先生との出会いを思い起こしていた。当時の私は、仕事と子育ての悪戦苦闘の真只中にいた。学生食堂でたまにお会いすると「女子学生もいることだし、医学生にとつてあなたの姿そのものが教育になるから」とさりげなく励んでいたこと、が、なんと今に至るまで教育の仕事に情熱を持ち続ける一つの支えとなっている。

支えられていることだろうか？自分が試験を受けている時は、なかなか訓練に立ち向かえる自分を築いてくれた人やもの、思いをいたす余裕もないまま、徒に嘆いていることがとても多いような気がする。大学全体も、大きな変化にどう対応していくのか、試験の時といえる。そんな時こそ、この大学を大いなる理想と先駆けとしての自負をもって、創立の労にあつた方々を記憶にとどめたい。見えないけれども脈々と流れている水脈にも似た伝統を大切に、さらに新たなものを加えるべく各々の立場で努力することが、今のキャンパスにいる我々の果たすべき役割といえるのではないだろうか。再び中国の古い諺を引用したい。井戸の水を飲むとき、その井戸を掘った人のことを忘れてはならない。

(池田)



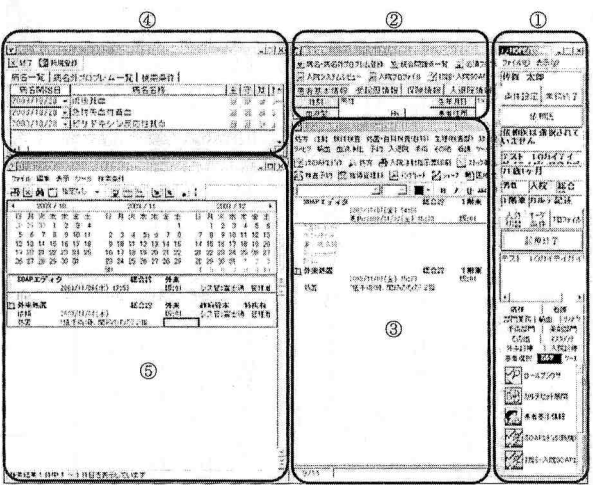
特集

変わる医療システム!

電子カルテって何?

患者を選択するとカルテ画面が表示されます。カルテ画面は、複数の画面で構成されています。

- ①管理プロセス... 電子カルテシステムを管理するためのツールです。
②患者情報... 患者の各種情報を表示します。
③エディタ... 患者の所見内容、観察項目、診断内容、指示(オーダー)内容などを入力・確認します。
④病名・病名外プロブレム... 患者に登録されている病名・病名外プロブレムの参照・新規登録を行います。
⑤ロールブラウザ... 患者の過去のカルテ内容、指示内容(オーダー)、レポート、看護記録等を日付順に表示します。



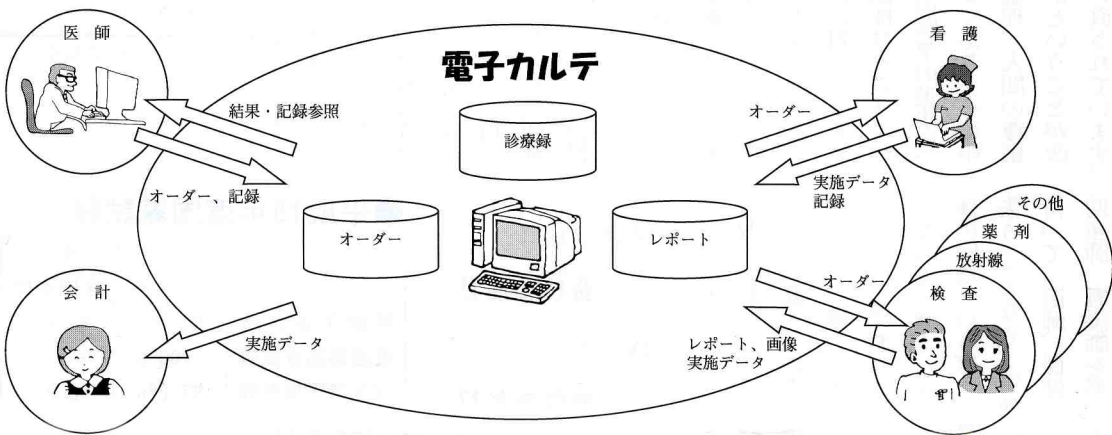
●画像(例:CT)

ロールブラウザの放射線検査の結果を表示ボタンを押すと表示される画面です。検査結果の画像を表示します。画面に何枚の画像を表示するか、画像の明るさ・コントラスト、画像のコマ送り(シネ表示)などを設定できます。

①画像アルバム... 撮影画像を一覧表示します。
②検査情報... 患者IDや検査日時を表示します。
③分割数... 表示する画像枚数を指定します。レイアウト-: 画像枚数を縦1列、横1列減らします。レイアウト+: 画像枚数を縦1列、横1列増やします。
④表示位置... 画像の表示位置を切り替えます。
⑤階調... 明るさ、コントラストを調節します。
⑥シネ表示... 指定した画像をシネマのように連続で表示(コマ送り)する画面を表示します。

佐賀大学医学部附属病院では医療の透明性の向上、医療の質の向上、医療のより効率的な提供を目指して2004年2月1日から、病院内で電子カルテを導入することになった。そこで、電子カルテ運用推進室副室長をされている、総合診療部の小泉俊三先生にお話を伺いました。

佐賀大学医学部附属病院 2004年2月1日に電子カルテ導入!



電子カルテシステムとは、診療録、看護記録、医療画像、診療上の文書、レポート等を統括的に管理するシステムです。電子カルテシステムの導入により統計や検索(データの再利用)、研究教育の支援、経営分析の有効活用、データの共有と標準化、管理経費の削減等、様々なことに活用できることを考えております。

電子カルテについてのインタビュー



電子カルテを医療の現場に取り入れる理由は何ですか?

電子カルテを医療の現場に取り入れる大きな理由の一つは、医療の透明性の確保が挙げられると思います。今まで、紙に書いていたカルテの内容を電子化することにより、さまざまな医療情報を医師だけでなく、患者さん、看護スタッフ、薬剤師、事務職員などと共有することが出来ます。電子カルテシステムは患者さんから見れば、分かりやすい説明で書かれた記録としてみることができ、医師からみれば専門的記録を中心とした専門的な内容としてみることが出来ます。将来、電子カルテは地域ぐるみのネットワークを活用することにより診療を支援するシステムとなるでしょう。また、大学病院の使用である診療、教育、研究の3原則と、そして病院の管理、物流に役立つデータベースとして大きなメリットがあります。診療の現場においては、インターネットの情報を活用し、医学部向けのデータベースにアクセスしてEBM(evidence based medicine) 根拠に基づいた医療を行うことで、患者さんにより安全な医療を提供することができるようになります。

電子カルテを医療の現場に取り入れる理由は何ですか? (Continuation of Koizumi's response regarding transparency and information sharing.)

電子カルテを医療の現場に取り入れる理由は何ですか? (Continuation of Koizumi's response regarding security and data protection.)

電子カルテを医療の現場に取り入れる理由は何ですか? (Continuation of Koizumi's response regarding system integration and future goals.)

を払って欲しいです。他にも、電子カルテの画像をもっと見やすいものにしたり、電子カルテそのものの機能の改良を行うことで、より使いやすい電子カルテを作っていく必要があります。そのところは、今後も業者と協議していくことになるでしょう。
●将来の電子カルテシステムの理想像
今後、医療の情報化が進んでいくにつれて、病名など医療における用語の標準化が進み、医療機関ごとの診療実績のデータ分析など医療機関相互の比較を客観的に行う環境が整ってくると思われま。それとともに、広告規制の緩和、公的な情報提供の整備、情報開示に関する比較可能な情報提供が進めば、患者さん自身で医療機関の選択ができ、最適な医療機関を選択することができるようになります。病院では院内の各部門間のネットワークを整備することで、検査、処方等の手続きが無駄なくスムーズに行われ、患者さんが医師と一緒に電子カルテの画面を見ながらレントゲン写真や検査結果などのわかりやすい映像とともに病気の状態についての説明を受けたり、治療方針を話し合ったりすることもできるようになります。医療は患者さんを中心とした流れになるでしょう。
●保健医療分野の情報化に向けてのグランドデザイン
http://www.mhlw.go.jp/shingi/0112/sj226-1ahml#2
●新版 電子カルテってどんなもの? 電子カルテ研究会 編 中山書店

卒業生座談会

平成16年3月に医学科を卒業した小松信俊、坂本佳子、藤井宏行です。皆さん、大学生活を満喫していますか？6年間の体験を通して、皆さんにメッセージを送ります。



小松 信俊

●勉強 ●
坂本・基礎医学の生理学、生化学、病理学をしっかり勉強して下さい。私は基礎が曖昧だったので、各疾患の全体像を把握する時に苦労しました。小松・臨床では、興味を持った分野から勉強すると、それから派生して次第に他の分野もわかるようになりますよ。



坂本 佳子

●医師国家試験 ●
小松・「勉強会」はとても効果的です。新しい知識を得たり、誤った知識が修正されたりと、一人で勉強するよりも断然理解が深まります。坂本・試験前日と一日目の最初は、緊張しました。模試で形式に慣れていけば、その後は緊張せずに乗り切れます。試験中は「睡眠」が一番大切です。



藤井 宏行

●部活 ●
藤井・6年間続けて、最後の年に九山優勝、西医体準優勝という結果を残せました。部活をしている人は是非続けて下さい。小松・部活で身につけた社会性やチームワークは、医療現場に入った時、大いに役立つと思います。

看護学科卒業生のメッセージ

市川 雅子



今年が桜が少ししか咲かなかった卒業式。両親、大事な友人、大好きな部活の仲間との別れを惜しみつつ、最後の佐賀医科大学卒業生として卒業しました。佐賀に来てあっという間の4年間、でも勉強、遊び、テニスに熱中した濃い4年間でした。今振り返って本当にいい4年間だったと思えるのは、とても幸せなことだと思います。友人、先輩、後輩、先生方、患者さん方など、学生生活で出会うことが出来た大切な人たちのおかげだと思っています。本当に感謝しています。



稲富 万里子

思い返せば、4年前、様々な期待、希望を抱き、大学に入学してきました。これから学ぼうとする

専門分野や新たな大学生活の始まりに、胸を膨らませていたことと思います。そして、この4年間を振り返ってみると、学生生活や部活、実習などから、一言では言えない沢山のことを学びました。特に実習では、患者さんとの関わりの中から改めて病む人の痛みや苦しみ、不安を知り、知識や技術だけでは図れないケアの難しさや専門過程の奥深さを実感しました。また、初心を忘れ、くじけそうになった時、励まし支えてくれたり、喜びや悲しみを共有してくれる友人たちに出会えたことは、一生の財産だと思います。大学生活の中で得たものは、これからの人生にとって、心の糧や支えとなるような貴重なものであったと感じます。

私たちが今、自分が描く夢の実現への出発点に立っています。その前途は、決して容易なものではないと思いますが、様々な試練を乗り越えて前進していきたいと思います。(山口)

大学に入って

医学科1年 徳 本 輝 弘



長い受験生活を終え、ついにこの春から大学生活を送れることになりました。まだ入学して日も浅いのでわからないことや不安なことはたくさんありますが、少しずつ大学生活にも慣れていきたいと思います。実際に大学に入ってみて、高校時代に予想していた大学生活とは大きく変わったのを感じました。講義をとっていてもいろいろな形があり、内容も専門的な内容が多いのと感じました。部活やサークルなどを見ても活動内容が様々で、とても自由なイメージを受けました。私は以前から大学に入ったら部活をしたいなと思っていた

のですが、色々な部活を回って見て中学のころやっていたバレーボールをするのことに決めました。不思議と高校でバレーボールをやっていたいと久しぶりにやりたいなという気持ちが湧いてきました。とりあえず昔の勘を取り戻しつつ試合に向けてレギュラーを取れるようがんばっていきたくと思っています。もうひとつ大学生活で今までと大きく変わったのが、一人暮らしを始めたことです。親元を離れ、すべてを自分ひとりでやることの大変さを只今痛感しているところです。また大きな壁になったのが食事です。何とかなるだろうと思っていたのですが、甘かったです。とりあえず本屋に走り料理の本を買い、何とか基本的な料理ができ

るようになりましたが、安い材料でおいしいものを作るためにこれからも修行しなければと日々思っています。ほかにも洗濯等の家事も大変だという事に気がつきました。今まであまりやってこなかったことを急にするのはとてもきついです。これから少しずつ慣れていけたらいいなと思っています。大学生活で重要なことはほかにもあります。それはよい人間関係を築くことだと思います。部活や勉強においてもよき友人、よき先輩がいるということは、とても大切なことなので、そういった点でもこれから学ぶ必要があるなと感じています。最後に、まだ入学して間もない身です。これからの大学生活、楽しいこと、辛いこと、色んなことを経験すると思いますが、卒業するときに今の自分と比べて、成長したなと感じることができるよう、充実した大学生活を送りたいと思っています。(橋本)

入学にあたって

看護学科1年 兼 原 早 希



私が佐賀大学に入ることができようとは夢にも思っていなかった。高校3年間を振り返るとそう感じる。合格を知ると直前まで「あの時も少し頑張っておけばよかった」「なぜあの時やらなかったのだろう」と後悔することが多かったように思う。合格してからも嬉しい気持ちや期待でいっぱいだったが、それと同時に不安もあり、複雑な気持ちだった。「これから看護学生として医療に従事するために学んでいくのだ」という実感が湧かずにいた。

そんな中、医療の現場に直接携わることで何か実感がつかめるのではないのか、そう考えた私は春休みを利用して個人的に近くの病院で看護師の仕事を見学させ

てもらった。しかし、いざ見学といっても知識や技術を持つているわけでもない私は、忙しく動きまわる看護師の姿を追うだけだった。そんな忙しい中でもこれは何か、何のためにするのかなど様々なことを教えてくださった看護師の方々に今思うと、感謝の気持ちでいっぱいになる。「私たちの仕事を指し示してくれるのは嬉しいよ」という言葉は印象深かった。短い間ではあったが、多くの医療従事者や患者さんに出会えてよい経験になったと思う。この経験を通して感じたことは、まだ医療現場の一面しか見ていないということ、そして自分は大学に入ることについて焦っていたということだった。これからは生活も勉強内容も今までとは大きく違ってくる。大学生活の4年間を通して医療看護の知識を身につけていくの

(江口・山口)

Parallel Inner World

K. Tokaichi

Do you read literature in English at all? Reading literature may seem circuitous for someone in medicine trying to be a good clinician or a productive researcher, but it'll pay in the long run, I'd say. It's trite to say that unless you can think clearly and express yourself well in your own language, you cannot expect to do a good cognitive job in another language in any field, be it medicine or nursing. One way to enrich your vocabulary in Japanese is to read literature in, say, English. In the process, you are bound to think or feel about many things more consciously than in Japanese-only reading activities. You'll probably look up new words in a dictionary far more often, and find clashes as to how things are perceived and expressed in the two languages. In the end, you engage your cognitive/perceptive capacity in a more loaded way, and that must eventually reflect well in what you do in Japanese.

Choose something short enough to finish in a few readings from the genre you really feel comfortable in. Literature is indeed so vast you can always find good reading material that fits you perfectly. You don't have to stay in 'pure' literature because you're not training to be a literary critic. What counts is how big a variety of styles and vocabulary ranges in English you end up exposing yourself to in as many disparate human settings as possible. You find authors who are MD's themselves writing about aspects of human existence that have little to do with what they do professionally, or perhaps recreating their lives as clinicians. There are detective stories that might help you brush up on what you've done in basic science subjects. Perhaps you want to read classics. But try to put yourself in a situation where you must keep making conscious cognitive efforts outside of your chosen field. Reading foreign literature is one such way, and a good one at that.

I hope you'll see the need to further widen and deepen your current English vocabulary, both actively and passively. Just think how much you have internalized in Japanese. You live in a far richer, and more highly nuanced, inner world than what your English creates for you. Isn't it about time that Japanese students aimed to create a parallel inner world that is just as rich in another language? I hope you agree.

Parallel Inner World (日本語版)

みなさんは将来、医学なり看護なりの専門分野へ進むこととなります。どんな分野でも英語は必要となりますが、専門性が強く一般に馴染みのない分野であればあるほど、そこで使われる英語も専門的で一般の人にはわかりにくいものとなります。ここで陥りやすいのが、他人が知らない単語を知っているために、一般の人より高等な英語を使えること勘違いしてしまうことです。実際に英語を使いこなすには専門分野での単語の意味がわかるだけでは不十分で、その単語の一般的な意味、日常での使われ方、同意語等を知っている必要があります。自分の専門分野のことは何とか話せる、論文は読める、しかしそ

れ以外では英語に苦労するという、使用範囲の限られた英語にならないようにはしてほしいと思えます。そのための前提条件とすべきなのが日本語の能力を磨くことであり、語彙力をつけるためには英語で文学作品を読むことが良い方法です。

みなさんは文学作品を英語で読むことがあるでしょうか？自分は臨床医や研究者を目指しているのだから文学作品を読むことは将来に結びつかない、と思うかもしれませんが、しかし長い目で見れば役に立つことと言えます。よく言われることですが、母語で明瞭な思考ができ、表現することができなければ、外国語で知的な作業をこなすことは期待できません。それは

で、自分が面白いと思えるものを選んでください。数は膨大にあるので、自分に合うものが必ず見つかるはずですが、文芸評論家になるトレーニングをしていくわけではないので、純文学に限る必要はありません。できるだけの幅に多くの文体や語彙の幅に触れることになり、作家の中からお医者さんもいます。医学とはほぼ無関係の側面でお医者さんとして書けることも意義深いものとなるでしょう。

実際には使えるものにして、読んでわかるだけのものにして、自分の語彙の幅を広げ、深めようという気持ちでいいと思います。今までも何年もみなさんは英語教育を受けてきたわけですが、その最終目標が、ある程度英語が読め少しは書いたり話したり

できれば良いというレベルに留まってしまう気がしてなりません。せっかく学ぶのですから、ネイティブの人ほど流暢ではなくても、英語で互角に渡り合えるようになることを目標にしたいです。

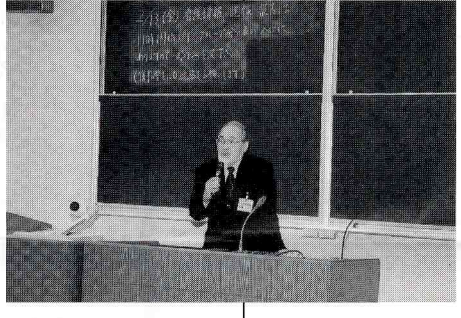
みなさんが使える日本語(=母語)の広がりには英語のそれを上回るか、日本語による精神世界は豊かか微細か。それは、英語を本当に使いこなせるということ、英語の精神世界を別に持つことなわけです。日本語の言語は関係し合っており、英語の特徴と比較することで日本語の学習がしやすくなりますし、その逆もまた同様です。母語に対する意識をはっきり持ち客観化することが大事で、どちらの言語を教える際もそれに気を付けて

※外国語で文学作品を読むことを薦められていますが、学生時代に読むと良いお勧めの本を教えてください。DNAの研究で有名なワトソンが「二重らせん」という本を書いています。そこに書かれている研究内秘められた執念や、彼のものを読んで感じてほしいです。ここ数年授業ではダーウインを取り上げていますが、彼らに共通するのは、自分の研究の遂行が様々な軋轢を生みながら乗り越えねばならなかったことです。ワトソンに関しては、イギリスの女性研究者の蛋白解析技法が彼の発見に大きな役割を果たしたという背景があったため、他の研究分野に踏み込まない伝統があったイギリスで反発を招いたイギリス人の研究の横取りをしたという見方をされたことが、「二重らせん」の始めに仄めかされています。ダウリンは、伝統的なキリスト教社会の中で教義に反する学説を唱え批判にさらされることを想定し緊迫した状況で研究を続けねばなりません。学生諸君はあまり意識しないかもしれませんが、ただ自分の興味あるものを研究するというだけでは許されない学問以外の要素も読み取ってほしいです。

※自身が生徒の時の英語の勉強法を教えてください。子供のころから英語が好きで、文章をしゃべりにむきで覚えた。同じ本を使い、暗記できるようにしていました。大学に進み、最初は英語漬けの生活でした。1年の間は、週に26コマの授業のうち23コマが英語で聞き取り、文法、発音、文型の暗記など徹底的に教えられました。学期初めに本も読まされ、初めはヘミングウェイなどの短いものから徐々に長編になっていき、それに基づいたディスカッションも行われました。英語の講義を聞き、理解してノートをとり、それを基に小論文を書けることが求められていました。日本語の起源に興味があり、当時のICUには応用言語学の分野がなく、結果的には日本語の教師になる訓練を受けました。

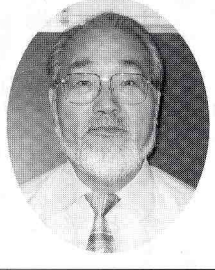
※佐賀医大で教えていることは印象に残っていますか。もともとカナダで一緒に高井先生に誘われて佐賀医大で教えることになりました。最初は1年から6年まで英語を教え続けるようなカリキュラムがたてられていたのですが、実際病棟実習が始まると無理だということになり、座学としての英語は4年までになりました。そこで感じていたのは国立大であることによる制約です。教官の定員も決まっていますし、カリキュラムを組む際も自由に行かない部分があり、英語を効率よく学ぶためには週に4回くらいは授業をと思うのですが、週に2コマが関係している体制は作れませんでした。初めは4年

に退化(?)していきました。他の旧一般教育の先生も言うことですが、解剖実習が始まると学生の意識が徐々に医学プロパーに焦点が絞られてくるようになります。さらに3、4年で臨床系の科目が多くなるという形をとり、結局今は軽んじられ、結局今のようない、2年で語学は終わるといふ形をとらざるを得なくなりました。そういうのもろもろの過程が印象に残っていますね。※退官されて時間のゆとりができたと思えますが、何か今後の計画はありますか。7月までは非常勤で授業を持つので思ったより忙しいのですが、水曜日は一日空いていて、最近では以前は妻に任せきりだったのですが、今は朝から時間があるので、専門家に聞いて土作りから始め、お百姓さんになった感じをやっています。作物を作るのは面白く、大切なことです。自分で作ると化学肥料を使わないという良さもあります。もう一つは英語でエッセイを書くことです。まだ発表するまでには書き込んでいないのですが、ゆとりができたから是非したいです。



この文章は右の英文に最終調整の内容を補足したものです。

PEOPLE NOW



十日市先生の経歴
 S40 国際基督教大学卒業後、同大学助手。S41 インディアナ州アーラム大学講師(2年3ヶ月)。S45 トロント大学大学院言語学研究所修士課程終了。S47 博士課程満了。同年ヨーク大学講師。S50 同大学助教授。S53 佐賀医科大学教授。H16 3月 定年退官。

今回は長年佐賀医大(現佐賀大学医学部)で英語教育に携わってこられたこの度退官を迎えられた十日市先生にインタビューをさせて頂きました。

※以前は外国で日本語を教えられていたわけですが、外国と日本の学生を比較してどう思われますか。日本語を教えた時は、日本文学や文化を学びたいという文系の学生を相手に教えるようになってからは医学系の学生を対象にしてきたので、専門分野の違いがあまりありません。せっかく学ぶのですから、ネイティブの人ほど流暢ではなくても、英語で互角に渡り合えるようになることを目標にしたいです。

みなさんが使える日本語(=母語)の広がりには英語のそれを上回るか、日本語による精神世界は豊かか微細か。それは、英語を本当に使いこなせるということ、英語の精神世界を別に持つことなわけです。日本語の言語は関係し合っており、英語の特徴と比較することで日本語の学習がしやすくなりますし、その逆もまた同様です。母語に対する意識をはっきり持ち客観化することが大事で、どちらの言語を教える際もそれに気を付けて

※外国語で文学作品を読むことを薦められていますが、学生時代に読むと良いお勧めの本を教えてください。DNAの研究で有名なワトソンが「二重らせん」という本を書いています。そこに書かれている研究内秘められた執念や、彼のものを読んで感じてほしいです。ここ数年授業ではダーウインを取り上げていますが、彼らに共通するのは、自分の研究の遂行が様々な軋轢を生みながら乗り越えねばならなかったことです。ワトソンに関しては、イギリスの女性研究者の蛋白解析技法が彼の発見に大きな役割を果たしたという背景があったため、他の研究分野に踏み込まない伝統があったイギリスで反発を招いたイギリス人の研究の横取りをしたという見方をされたことが、「二重らせん」の始めに仄めかされています。ダウリンは、伝統的なキリスト教社会の中で教義に反する学説を唱え批判にさらされることを想定し緊迫した状況で研究を続けねばなりません。学生諸君はあまり意識しないかもしれませんが、ただ自分の興味あるものを研究するというだけでは許されない学問以外の要素も読み取ってほしいです。

※自身が生徒の時の英語の勉強法を教えてください。子供のころから英語が好きで、文章をしゃべりにむきで覚えた。同じ本を使い、暗記できるようにしていました。大学に進み、最初は英語漬けの生活でした。1年の間は、週に26コマの授業のうち23コマが英語で聞き取り、文法、発音、文型の暗記など徹底的に教えられました。学期初めに本も読まされ、初めはヘミングウェイなどの短いものから徐々に長編になっていき、それに基づいたディスカッションも行われました。英語の講義を聞き、理解してノートをとり、それを基に小論文を書けることが求められていました。日本語の起源に興味があり、当時のICUには応用言語学の分野がなく、結果的には日本語の教師になる訓練を受けました。

※佐賀医大で教えていることは印象に残っていますか。もともとカナダで一緒に高井先生に誘われて佐賀医大で教えることになりました。最初は1年から6年まで英語を教え続けるようなカリキュラムがたてられていたのですが、実際病棟実習が始まると無理だということになり、座学としての英語は4年までになりました。そこで感じていたのは国立大であることによる制約です。教官の定員も決まっていますし、カリキュラムを組む際も自由に行かない部分があり、英語を効率よく学ぶためには週に4回くらいは授業をと思うのですが、週に2コマが関係している体制は作れませんでした。初めは4年

退官に

十日市健助 教授

よせて

忽那 龍雄 教授



成人老年看護学講座
忽那 龍雄
(くつな たつお)

思い出

光陰矢の如し、月

棟が1棟のみポツンと建っているに過ぎない侘しいものでした。しかし、2万坪という広大な敷地の中にある運動競技場、テニスコート、及び整地中の野球場等の運動施設、そしてキャンパスを包み込む様に植えられた多数の若木が良き土壌と良き世話役に恵まれ、すくすくと成長して、医学生と共に開花するであろう期待感を充分に漂わせていました。

赴任後、しばらくの間は建築ラッシュで、軟弱な地盤に長大な杭が多数本、打ち込まれる大きな騒音と地響きが轟く中での運動器の講義と整形外科研究室及び附属病院開設のほぼ2年間に亘る準備期間でした。この期間は、整形外科医として研鑽を積み15年経過していた私にとって、臨床を行う本拠地が無い苦悩を体験しましたが、これまで取得した診療技術を見つめ直し、どのようなことを3年後に卒業し入局してくるであろう整形外科医を

が無い医療従事者になって、病める人、障害を有する人の社会復帰に貢献して欲しいと思います。さらには高齢社会の自立支援にも目を向け、各人が地域における高齢者の健康管理に積極的に関わりあえる能力と技術を身に付けて欲しいと思います。

現在では恒例化している本学のチューター制度、当時は初めて取り入れたユニークな試みでした。チューターは佐賀医科大学における学生の里親として、学生生活の充実、即ち建学の精神でありました、研究者や専門医ではなく江戸時代に庶民の医師として活躍した赤ひげ医師のように育つ基盤と体力を付けるためのコーチ役を果たすことと理解しました。

赴任後、2期生が入学すると直ぐに5名の新生入生チューリアルと対面し、全学年において、チューリアルとのミーティングや教授会等の会議のために授業を行わないことになった水曜日の午後、必ず集合し、各人の1週間の出来事を話題にして行くことにしました。5名のそれぞれが何か1つのイベントを、これから1年間、継続

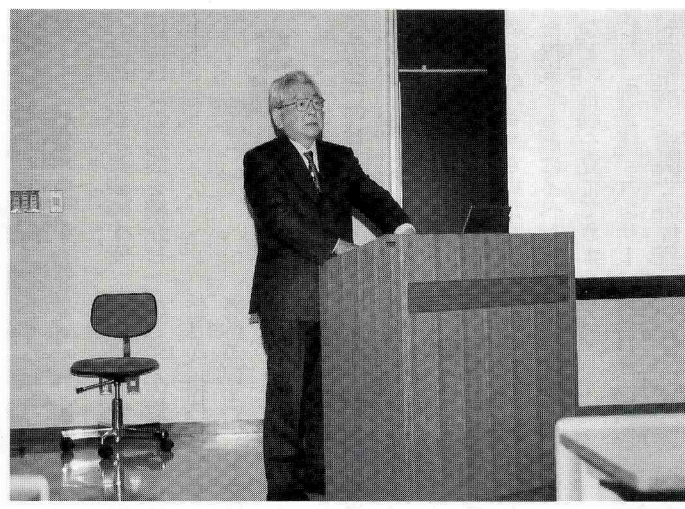
して実行することを初対面時に決めましたが、その内容は休日の山登り、英会話、ボランティア、クラブ活動でした。毎週、楽しくそれらの成り行きを話題にして、上達を喜び合ったり、励ましあったりしながら、楽しめたように思います。社会に巣立つてからも一つの事を始めたら、3日坊主ではなく、一定期間は継続してやることで、ことの良さ、楽しみ、および発明の喜びが生じます。

また時には、皆で買い物、鍋、包丁、炊飯器などを持ち寄り、料理を作り会食を楽しんだりもしました。その初めてのとき、炊飯器でのご飯の炊き方が誰も判らずに、熊本の妻に電話を繋ぎ、米の研ぎ方、水の量など講習を受けながらスイッチオン、炊き上がるまで、すき焼きをつつきながら酒を酌み交わしていたら、隣の住人が心配して美味しい餌を沢山差し入れて頂き、深夜までよく食べ、よく飲み楽しんで思いつくでもありません。この時の思い出深い最初のチューリアル学生は、現在では眼科医、婦人科医、皮膚科医、精神科医、内科医となり、

5名中3名が郷里で開業、他の2名が勤務医として活躍しています。これから、医療の現場で彼らと同じように活躍するには、現在の医療が病院から在宅及び地域へ、病前から健康、個人的医療からチーム医療、経験的医療からエビデンスに基づいた医療へと変化していることに注目しておくことが必要です。

私が熊大から佐賀医科大学に赴任致しました頃、佐賀県は「ぶん蚊都市」と呼ばれていました。赴任した翌年、遅れに遅れていた八戸溝の官舎が完成して入居致しました。黄色い変な外観の通称「カステラハウス」と呼ばれた北側の棟に入居すると、無数の蚊がチクタク、大歓迎をしてく

れました。「ぶんか都」市に生息していた本県の蚊は、網戸を潜り抜けて何の遠慮も無く侵入してくるだけではありません、帰宅してドアを開けると束状に群がって一緒に入室するし、よそ者に対する好奇心が大きいようで、しばらくは蚊という家主さんとの共同生活でした。しかし、蚊の研究の大家、本学の茂木先生のご尽力を思いますが、最近では蚊に刺されていた頃を懐かしむほどに「少ぶんか」都市に変身し、福岡、福岡へと一極集中化した波の中に消え入りそうな寂しさに包まれています。医学部はこのようには後退しないように頑張つて欲しいと思う此の頃です。(江崎・熊本)



文化 書庫の窓辺にて

青雲のころ

17歳 高校生の私は受験勉強を放棄してしまつた。気の合う仲間と取りあつかも必然なことといわんばかりに打ち砕かれていく様に毎日のように唸り続けた。考えてみれば当たり前なことなのだが、単純な私の人間観は日々崩れ落ちてしまつた。それを現実と呼ぶのか、運命、不条理：そんなことは私の知ったことではないと思つたが、いろいろな言葉を連想する中で運命という言葉に私は強く惹かれた。「居酒屋」で淪落に墮ちる主人公やデ・シーカの「自転車泥棒」の悲劇的な結末を見ながら、悲しいとか可哀そうというよりもそんな冷たい詩情がかえって心地良かつたりもしたものである。「ああ、運命だな」と。そうすると、いったい善とか悪とかいう概念は何の役に立つのだろうか。艱難辛苦の果てに墮ちてゆく人間の生に善悪の區別などほとんど無意味に思えた。

「運命」という言葉の響きに酔いながら、私はかえつてますます自分の生があまりにも偶然の連続のような気がして仕方がなかつた。「私を葬るのに宇宙全体が武装する必要はない、一滴の蒸気でも十分なのだ」と紙片に書き付けたパスカルの言葉のように、今の自分の生とはなんと不安定なものだろうと思つた。私は何

か確実なよりどころを求めていろいろなことが頭を擡げた。これから人と関わりあつていきていく中でこんな性格で大丈夫なのだろうか、人への思いやりが足りないのではないかと、もつと禁欲的でないかならぬのではないかと、しかしもつと楽天性も必要なのではないか。なんだかつまらぬことで神経症的な堂々巡りに陥つて、自分に正直に生きるなどと苦し紛れにわかつたようなわからぬような結論を導き出したところで、生の不条理に太刀打ちできるものではないと思つた。

「過熟な意識は病気だ。本当の、完全な病ひなのだ」(ドストエフスキー)

「地下室の手記」こんな言葉にかえつて救いを感じながら、ではその不安定さがある段階で確実なよりどころによって本当に解決する性質のものなのかという疑問を持つた。人の生がそもそも不条理なものであるなら、それは無限に連鎖してゆくものではないのか。それが美と倫理の相克なのか、それはよくわからないにしても、そこに一つの突破口を開かんとする無窮の運動こそが、いわゆるキルケゴールの弁証法というものではないのか。これが17歳の私の、生の感覚であつた。(吉田雄)

クーポン券
発行日: 2004年5月15日
発行場所: 輪瑠都
有効期限: 発行日より1年間有効

クーポンを頂きました。

ここがうまいよ 医大生



珈琲舎 輪瑠都

このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介し、今回は、三日月町「珈琲舎輪瑠都」さんに取材に行きました。「輪瑠都」という個性的なお店の名前は、お客さんの「輪」が



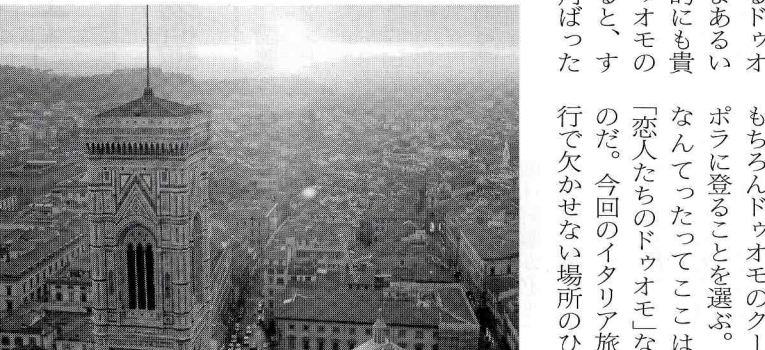
無限大に広がるようにという、マスターの願いが込められているそうです。「珈琲舎」という名前からも分かるように、コーヒーをメインにした喫茶店で、店舗の裏にはコーヒー豆専用の工場があり、本格的なコーヒーが楽しめます。種類も豊富なので、自分好みのコーヒーを探してみたいかがでしょうか？

このお店は喫茶店なのですが、コックさんが調理場に待機していて、食事も十分に楽しめます。特にシリアンライスは、20年くらい前からずっと続いているメニューで、九州で初めてシリアンライスを出したのは、この「輪瑠都」さんです。元祖シリアンライスを一度食べてみてください。昼夜問わず、やはり客層は80%が女性のようにです。パフェの種類も豊富で、料理にはセットメニューがあります。セットメニューにはケーキやサンドウィッチなどがついています。女性にはうれしいですね。また、午後3時〜午後10時には、後3時〜午後10時には、レディースセットという

とつだといつてもよい。クーポラに登るための6ユーロ(860円くらい)を支払って中に入る。もちろんエレベーターなんてあるわけではない。44段もの階段を登ってやっとたどり着けるのである。どんな階段の幅は狭く、登っているうちに目がまわり次第に具合が悪くなって、とそこで突然に視界が開け、壮大な天井画が目に入る。「もう嫌」と思ふか思わないかの、絶妙なところでこの仕掛け。聖堂内部の静寂と、美しく壮大な天井画に再び気持ちが引き締まる。

そうして再び狭い石段を登りきるとそこには、真つ赤な夕陽と一面に敷き詰められたフイレンツェの街並み。バラ色の

フイレンツェに到着し、ウフィツィ美術館を鑑賞したあと(なんとここは予約してなかったのだ)入館まで一時間半待ち(！)いよいよドゥオモに。フイレンツェに着いたときはあいにくの雨だったのだが美術館を出る頃にはいつのまにか雨もやんでいた。ドゥオモ、というのはいの「冷静と情熱のあいだ」で一躍有名になったサンタ・マリヤ・デル・フィオーレ大聖堂のこと、このクーポラ(天井部分)こそ映画の中で主人公の二人が約束し再会した場所である。フイレンツェのシンボルミハーな私は



もちろんドゥオモのクーポラに登ることを選ぶ。カーブは建築学的にも貴重だという。ドゥオモの前までやってくると、すぐ隣に対照的に角ばった細長いジョットの鐘楼がそびえている。ジョットの鐘楼に登るとドゥオモを眺めることができ、ジョットの鐘楼が見える。要は、眺めにどちらをいれたかということになるが、ミハーな私は

震みがかつた山並みと大きく真つ赤な太陽はフイレンツェの街並みをより赤くより幻想的にみせている。夕暮れ時の街の喧騒やイタリア名物の救急車の音(いたる所で救急車が絶え間なく走っている)、遠くから聞こえる教会の鐘の音、それらすべてがその瞬間の絶景を作りあげていた。真つ青な空と真つ赤な屋根、という景色を想像してフイレンツェにやってきましたが、あいにくの雨と夕方という時間帯によって生まれたあの光景こそが私のフイレンツェとして今も鮮明にみえる。(酒井)

部活動紹介

このたび学長表彰を受けた三つの部活を紹介します。

SMILE

SMILEは1999年にスタートしたボランティア団体です。佐賀大学附属病院に入院中の患者さんたちからいただいた提案をもとにイベントなどの企画を立ててきました。例えば、コンサートを始め、病院での佐賀にわか公演や画家の方との絵画制作、院内図書コーナー開設など、また院内学級での活動なども行ってきました。

これらの活動の実現にはたくさんの方に助けられた。



今回のまたSMILEが行ってきた病院での活動に対して賞をいただきましたが、病院でなくても違った形でいろいろな活動をしている方もいると思います。こういった賞がそういった活動をより広く知らせるきっかけになるといいと思います。SMILEでは、できることから形にしようという活動をしています。関心のある方は是非ご連絡ください。(安達)

LABO

私達は2002年から活動してきました。活動内容は、佐賀県内のSTD、HIV、人工妊娠中絶の予防のため、ピアカウンセリング技法を使った性教育を、依頼された



今回たまたまSMILEが行ってきた病院での活動に対して賞をいただきましたが、病院でなくても違った形でいろいろな活動をしている方もいると思います。こういった賞がそういった活動をより広く知らせるきっかけになるといいと思います。SMILEでは、できることから形にしようという活動をしています。関心のある方は是非ご連絡ください。(安達)

ラグビー部

僕は去年の西医体で



優勝しました。16人という少ない人数で厳しい練習をしてきた成果が出てまたその努力をこういつた形で表彰していただきとても光栄に思います。僕は今西医体の連覇に向けて、練習を重ねる毎日です。また今回のような表彰をしていただけるように、精一杯がんばっていきこうと思います。(鶴野)

新聞編集委員

植原恒彦教授(編集委員長)
池田豊子助教授、内川洋子助教授、尾崎岩太講師
藤井可、安達正時、中司貴大、吉田雄一(医6)岸川優紀、興梠雅代、齊郷智恵美、酒井亜輝子、田中恵、橋本哲、吉田拓哉(医4)河田康祐、田代直規、月田彩子、鶴城雪子(医3)蘭広子、江口香織、江崎香菜子、熊本美子、近藤瑠美、山口紀子(看3)
棚町豊二(フォトセンター)
山口一利、坂井光太郎(総務学事課職員)
要望などの連絡先
総務学事課学務係 坂井
sakaik2@post.saga-med.ac.jp

編集後記

隣県で児童の痛ましい事件が(再び)起きた。対人関係の構築が苦手な世代の教育に携わる者として無関心ではいられない。良き医療人を目指して学ぶ皆さん方には、患者さんとのコミュニケーション能力を十分に培って欲しいと切に願う。(K・Y)

大学院 医学系研究科 優秀論文賞 表彰



賞	指名	論文題名
優秀論文賞	G9801 大谷 顕文	Foveolar Differentiation of Mouse Gastric Mucosa in vitro
優秀論文賞	2000410 王 又冬	The mouse <i>Murr 1</i> gene is imprinted in the adult brain, presumably due to transcriptional interference by the antisense-oriented <i>U2af1-rsl</i> gene
優秀論文賞	2001407 坂田 資尚	The squamous cell carcinoma antigen 2 inhibits the cysteine proteinase activity of a major mite allergen, Der p 1

(修士課程看護学専攻)

賞	指名	論文題名
優秀論文賞	2002509 田中 奈美	介入支援による妊婦の禁煙行動への変容
優秀論文賞	2002511 高野 陽子	関節リウマチ女性患者の口腔保健行動と口腔QOLについて